



7月度 ⑦ なるほど そうか やってみよう!

<儲けを管理する:その4 商品回転率> 商品がお金に変わるスピードについて考えてみよう!

粗利益と密接に関係している指標に『商品回転率』がある。

実は、商品回転率にも2種類ある。計算に①上代在庫を使う場合と ②下代在庫を使う場合がある。①の場合は今の小売価格で商品がお金に換わるスピードを表している。

②の場合は投下した資金(商品代金)効率を計る目安に使われる。(決算書分析はこちらが使われる)今回は①(上代在庫を使った回転率)を中心に考えてみよう。

☞覚えてください: * 商品回転率 = 売上高 ÷ 平均上代在庫金額 : 単位 ~ 回転

* 毎月の回転率 = 月の売上高 ÷ (月初上代在庫 + 月末上代在庫) / 2

* 年間の回転率 = 年間売上高 ÷ (毎月末の上代在庫12カ月分合計) / 12 ← 月平均を出すため

ちょっと数式が多く、興味がわかなかったと思いますが、これからは簡単です。

商品回転率は一言でいうと『商品がお金に換わるスピード』を表している。

詳しく分析すると、売行きの良い商品 不振商品を明らかにしてくれる。

その結果何をしなければならぬかが明確になる。



<数値を使って計算してみよう>

* 年間売上高: 12,100万円

* 平均上代在庫: 2,200万円

* 粗利益率: 33%

商品回転率 = 年間売上高 ÷ 平均上代在庫 = 12,100万円 ÷ 2,200万円 = 5.5回転

商品回転率 5.5回転とはどんな状態なのか? ちょっと分かりにくい。

もっと分かりやすくするために『在庫日数』という考え方がある。

* 在庫日数 = 365日 ÷ 商品回転率: 商品がすべてお金に換わるには何日かかるかを示している。 * もっと簡単に ⇒ 6月度の“なるほど そうか やってみよう!”を参照

商品回転率 5.5回転の場合 在庫日数 = 365日 ÷ 5.5回転 = 66日

商品がすべてお金に換わるには「66日」かかる。

☞総合衣料店の目安: 商品回転率: 5回転以上 在庫日数: 70日以下

知っておくと役に立つ関連指標に『交差主義比率』(略して、交差比率)がある。

言葉は難しいが、簡単だ。 * 交差比率 = 商品回転率 × 粗利益率

上記の数値で計算すると 商品回転率 5.5回転 × 粗利益率 33% = 181.5

総合衣料店だと180以上を目指したい。最低でも150以上だ。

これは何を表しているかを簡単に説明してみよう。

$$\text{交差比率} = \text{商品回転率} \times \text{粗利益率} = \frac{\text{売上高}}{\text{平均上代在庫}} \times \frac{\text{粗利益}}{\text{売上高}} = \frac{\text{粗利益}}{\text{平均上代在庫}}$$

つまり、投下した在庫金額がどれだけの粗利益を生み出しているかを示している。

上記の例だと、交差比率は181.5 つまり、投下した在庫が1.81倍の粗利益を生み出している。

今回はちょっと複雑ですから、3回読んでください。